

# 第36回

# うつのみやこども賞だより

## 令和元年度 2回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

### 《今月選ばれた本》

## 『天地ダイアリー』

ささきあり／著（フレーベル館）

### ～読んだ本の感想より～

- 最初は自分に自信がない主人公だったけれど、だんだん友達とかができてよかったです。
- 天地ダイアリーで特におもしろいと思ったことは、主人公の広葉がまわりの人たちにあだ名をつけ、そのあだ名があまりにもあっていた。
- 何でマスクをしているのかとても気になって、どんどん読みたくなりました！
- 話がシンプルでとても内容が分かりやすかった。さいばい委員会という目立たない委員会の話でもいろいろな人物が出てきてよかったです。
- とても面白かったです。先パイ達のあだ名が面白いなと思いました。内容が分かりやすく、読みやすいです。



令和元年7月7日

### 『あの日、ぼくは龍を見た』

ながすみつき／著（PHP 研究所）

- 真琴が歴史を変えてくれてよかったと思った。わくわくした。
- わたしが好きなところは、封じられた龍の炎というところ。理由は、こわいのにながらばって舞をおどっていてすごいなって思ったからです。
- すごくおもしろかった！まことが、がりゅうの大祭を復活させられてよかったと思った。
- ファンタジーだけどファンタジーっぽくなくて、おもしろかったし、読み進められた。ツグミが臥龍の舞をよっているところは、はく力があってよかった。
- 謎が残るまま終わるのがいいなと思いました。

### 『星空の人形芝居』

熊谷千世子／著（国土社）

- 人形芝居をきっかけに、どんどん築かれていく友達との友情に感動した。
- まさかのどんでん返しにおどろいた。
- 伝統をまじえていて良かった。
- と中で七海が人形をほうり投げたときは、どうしよう！と私もハラハラしました。ですが、最後にはいい人形芝居ができ、よかったと思いました。
- 人形の知識も分かって、楽しめる。いつきが人形と出会って変わっていくストーリーが個人的に好み。

### 『一ツ蝶物語』

横山充男／著（ポプラ社）

- 悠真が蝶を探して色々な所に行くという設定が面白かった。1つ1つの話は悲しい物が多かったが、現実をしっかりと見ているかんじがして面白かった。
- 1つ1つ短ペン集になっていて、とっても読みやすかったです！
- よく内容は分からなかったけど、いろいろな道に行ったら、そこで主人公が幼想を見るのと、その幼想がいろいろな時代もので、おもしろかった。
- 自分の知らない昔のことが書いてあって、おもしろかった。さし絵も分かりやすく、きれいで、すてきだった。
- みんな国家や仲間なしでは生きていけないということが分かった。